

2015年3月6日

エフセキュア、Linux サーバに関する セキュリティレポートを公開

エフセキュア株式会社(本社: 東京都千代田区、カンントリーマネージャ: アリエン ヴァン ブロックランド、以下 エフセキュア)は、サーバ OS として Linux を利用する企業のセキュリティ被害に関するレポートを公開しました。

エフセキュアが 2014 年に実施した調査*では、日本の Linux サーバ管理者が Linux を利用する理由として、「コストパフォーマンスの高さ」「安定性」、そして「セキュリティの高さ」をあげていることが判りました。さらに Linux サーバのセキュリティの不安に関する質問では、「安心」「どちらかという安心」と回答したサーバ管理者が合わせて 82%を占め、Linux に対しセキュリティ上の信頼感を寄せていることが明らかになりました。

しかしその安心感に依存しているため、Linux サーバ管理者の 4 人に 1 人がサーバのセキュリティ対策を実施していないという実態も浮き彫りになっています。その結果、安心を寄せているはずの Linux サーバ管理者の 7 人に 1 人にあたる 14%が、深刻なサイバー攻撃に合っていました。

こうした Linux サーバに関する深刻なセキュリティ被害の実態について、エフセキュアは「Linux セキュリティレポート」としてまとめ、公開いたしました。現在、次の Web ページからダウンロードいただけるようになっております。

<http://news.f-secure.com/Linux-report>

なおエフセキュアでは、Linux サーバ上でのマルウェアのコピーや、ハッカーからのファイルの改竄を防御するための製品「エフセキュア Linux セキュリティ」、およびプロトコルレベルで動作し、マルウェアのアップロードやダウンロードを阻止する「エフセキュア アンチウイルス Linux ゲートウェイ」を提供し、Linux サーバの企業環境における多層的な安全性の確保に力をいれています。

* エフセキュアは 2014 年 5 月、調査パネルを持つインターネットリサーチ企業の協力により、企業における Linux サーバのセキュリティ対策の実態について調査を実施しました。Web サーバ等の OS として Linux を利用する企業の管理者の皆様から 308 件の有効回答をいただきました。

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.co.jp/>

F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、オンラインセキュリティおよびプライバシー保護を提供するフィンランドの企業です。弊社は、世界中の何百万人もの人々が、監視されることなくインターネットを楽しみ、さまざまなデータを保存や共有する力と、オンラインの脅威からの安全性を提供します。弊社の存在意義は「デジタルフリーダム」のために闘うことです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2014年5月に日本法人設立満15周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地: 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

マーケティング部

Tel: 03-3556-6301 Fax: 03-3556-6295

Email: japan@f-secure.co.jp

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F

URL: <http://www.f-secure.com>

Blog: <http://blog.f-secure.jp>